

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)博多駅前ホテル計画新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.4</b>	0.15	<b>2.8</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		<b>5.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.40			
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能はT-3等級	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.4</b>	0.35	<b>2.8</b>	1.00			<b>2.6</b>
2.1 室温制御		<b>2.7</b>	0.50	<b>3.4</b>	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能	宿泊部客室: 窓SC=0.59、U=2.9、壁U=0.68	2.0	0.25	4.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.5</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.2</b>
3.1 屋光利用		<b>2.4</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 屋光率	宿泊部: 2-12階客室1(Aタイプ): 7.18%	2.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			
1 屋光制御	宿泊部: カーテン、庇で制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.9</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆以上を採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.38			
1 換気量	建築基準法を満たす換気量の1.4倍	5.0	0.50	5.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	空気取入口は汚染源の無い方位、各種排気口と6m以上離れて設置	3.0	0.50	4.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.1</b>	0.40	<b>2.4</b>	1.00			<b>2.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	1.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.5</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い建材の採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.8</b>	0.30	-	-			<b>3.8</b>
2.1 耐震・免震		<b>4.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	ゴム防振設置	4.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル40年	5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート20年、壁:せっこうボード30年、天井:せっこうボード30年	5.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.2</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	WiFi基地局設置、地下空間への設置無し、火災通報装置設置	4.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			-	-	<b>1.8</b>	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			3.0	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
1	建物外皮の熱負荷抑制	高性能断熱材、複層ガラスの採用	4.4	0.20	-	-	4.4
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.66 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.50	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED照明等の高効率設備機器の採用	5.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	磁器質タイル(外部内部床材)、ビロ床シート(床材)、OAフロア(事務室床)	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアの採用	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率=71%	4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリスト、広告物照明配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	